

*給食室から

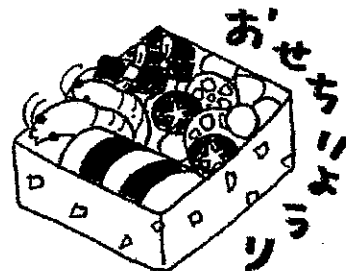
『おせちをたべよう!!』

おせち料理とは、年のはじめに平和と健康への祈りを込め、大地や海、草や木、水などに感謝をする食事です。一つ一つの料理に意味があります。保育園でも1月5日におせち料理、1月7日に七草がゆを食べ、日本の昔からある食文化に触れたいと思います。

スーパーや百貨店などで幅広く取りあつかわれていますが、1品でも2品でもぜひ手作りして、子どもたちにそれぞれの過程の味も伝えてもらえたらと思います。

*おせちのメニュー

- ・ぶりのてりやき…出世魚なので縁起が良いと言われています
- ・紅白なます…紅白がおめでたい彩りで水引にも見立てているそうです
- ・煮しめ…手綱こんにやく（心を引き締めるという意味があります）
れんこん（まっすぐの穴がいくつもあるので「先が見通せるように」
という意味があります
- ・くりきんとん…黄色なので金運が上がりますようにと願いを込めた1品です



日本の昔話の絵本

—子どもたちに絵本を 絵本は心の栄養になります—

『ももたろう』 松居 直/文 赤羽末吉/画

数ある「桃太郎」の絵本の中で、ベストだと確信できるほどの傑作。昔話の面白さが味わえる「桃太郎絵本」の決定版。

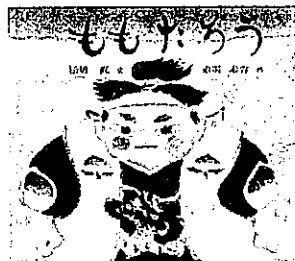
随所に民話らしい語り口を残しながら、現在の子どもたちにわかりやすい文で書かれている。。民話ならではのダイナミックで力強い赤羽末吉の絵は何度読んでも飽きがきません。



他にこんな絵本も…

*さんまのおふだ 水沢謙一/再話 梶山俊夫/画 福音館書店

*やまんばのにしき まつたにみよこ/ぶん せがわやすお/え ポプラ社

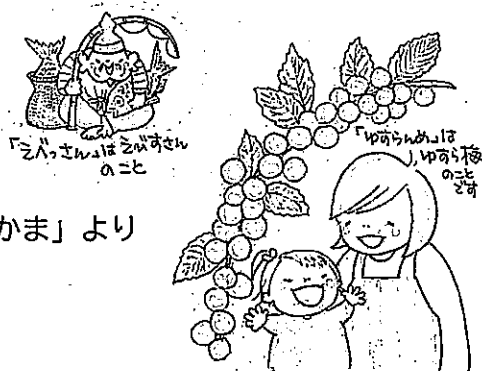


—たくさん読んであげてね—

わらべうたであそぼう 『ゆすって ゆすって ゆすらんめ』



ゆすらんめはバラ科の木で、赤い実がなるよ
ゆすらんめの実のような、えびさんのような
赤いほっぺが、お顔になつてね、というわらべうたです



雑誌「ちいさいなかま」より

